

## 別紙2

# G T F Green Challenge AWARDS 2014 「間伐・間伐材利用コンクール」審査基準（案）

## 1 審査方法

審査に当たっては、下記の各項目について審査を実施する。

### ア 製品づくり・利用部門

#### ①先進性

- ・木材の特徴を活かした製品であるのかどうか
- ・既設または既製品と比較して今までにない新規性があるのかどうか。
- ・企業・民間団体等の物品調達における新規性・独創性があるのかどうか。

#### ②社会生活への貢献性

- ・日常生活、日常業務の利便性向上等に役立っているのかどうか。
- ・日常生活、日常業務に安らぎや潤いを与えているのかどうか。
- ・景観・自然環境に配慮しているか。
- ・地域住民、顧客等に対する間伐の普及啓蒙活動に役立っているのかどうか。

#### ③材料の地域性、有効利用の状況

- ・地元産の間伐材が利用・調達されているか。
- ・地域における間伐材の利用率向上に役立っているのかどうか。

#### ④技術合理性、普及の可能性

- ・生活用品等は機能性に富んでいるか、また経済性は、安全に対する配慮は。
- ・工事については、施工が容易で扱い易いか、他地域への汎用性はあるのか。
- ・消費者又は就業者のニーズに応えているか。

### イ 間伐実践・環境教育部門

#### ①計画性

- ・活動に関わる年間計画が立てられているか。
- ・活動が継続的に実施されているか。
- ・計画内容（間伐実践：作業時期・種類・工程等、環境教育：学習内容・対象年齢等）が妥当なものとなっているか。

#### ②実行状況

- ・計画等に基づいて適切に作業が実施されているか。
- ・作業中は指導員等による作業指導や指示がなされているか。
- ・実行体制等が整備され、今後とも継続性があるか。
- ・活動に広がりや継続性があるか（参加人数、継続期間）

#### ③安全性

- ・近年において、重大災害が発生していないか。
- ・必要な安全対策が図られているか。
- ・作業者は保安帽等を着用して安全作業に当たっているか。
- ・指導員は、研修会に参加する等技術向上に努めているか。

#### ④周辺地域への効果

- ・周辺地域などに対しての波及効果が高いか。
- ・地域住民等の積極的な参画があるか。

## 2 評価（二次審査）

- (1) 審査委員ごとに、優秀な事例を推薦する。
- (2) 各審査委員の推薦に基づき、審査員相互で各賞を選出する。
- (3) 審査委員長奨励賞について  
審査基準以外の観点からも、間伐及び間伐材利用推進のため奨励する取組等について以下の  
ような点を勘案して選定する。
  - ①単独での間伐実施のほか、他業種と広く連携を図っている
  - ②小規模ながら活動等を通じて一般にアピールできる
  - ③消費者の意向を取り入れるなど、今後、幅広い展開が期待される